

5 動燃（安）010  
平成5年6月16日

科学技術庁長官

中 島 衛 殿

住 所 東京都港区赤坂1丁目9番13号

氏 名 動力炉・核燃料開発事業団

理事長 石 渡 鷹 夫

プルトニウム燃料第三開発室における連続焼結炉  
の作動不良について（第一報）

標記の件について、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項並びに核燃料物質の使用等に関する規則第7条第2項に基づき、別紙のとおり報告いたします。

以 上

(別紙)

1. 件 名

プルトニウム燃料第三開発室における連続焼結炉の作動不良について (第一報)

2. 発生年月日

平成5年6月7日 午前5時40分頃

3. 発生場所

プルトニウム燃料第三開発室焼結室 (FP-105)

4. 概 況

平成5年6月7日、プルトニウム燃料第三開発室焼結室 (FP-105) の連続焼結炉において、ペレットを焼結していたところ、ペレットの載った焼結皿を移動させる駆動装置に過負荷の警報信号が発生し、駆動装置が自動停止したため、焼結皿が搬出されなくなった。このため、駆動装置のモーターの点検、電気回路の点検をしたが異常は認められなかったため、連続焼結炉内の焼結皿を移動する系統に何らかの異常が発生したものと判断し、午前5時40分頃連続焼結炉の電源を手動にて切り、運転を停止させた。

なお、放射性物質の外部への漏洩はなく、作業員及び環境への影響はなかった。

5. 処 置

運転を停止する前に、焼結皿を移動させる駆動装置のモーター及び制御回路の点検をしたが、異常は認められなかったため、連続焼結炉の温度を下げ、炉内の状況確認の必要があると判断した。その後、6月14日に炉内が常温まで下がったことを確認し、同日フランジの取り外しを行った。現在は炉内にある焼結皿の取り出し及び内部観察の準備をしているところである。

6. 原因及び対策

原因等については、炉内を降温させた後、炉内にある焼結皿の取り出しが終了した時点で、調査を行うとともに対策を施す。なお、原因調査の結果等については後日報告を行います。

7. 添付図面

図-1 プルトニウム燃料第三開発室 1階平面図

図-2 連続焼結炉概要図

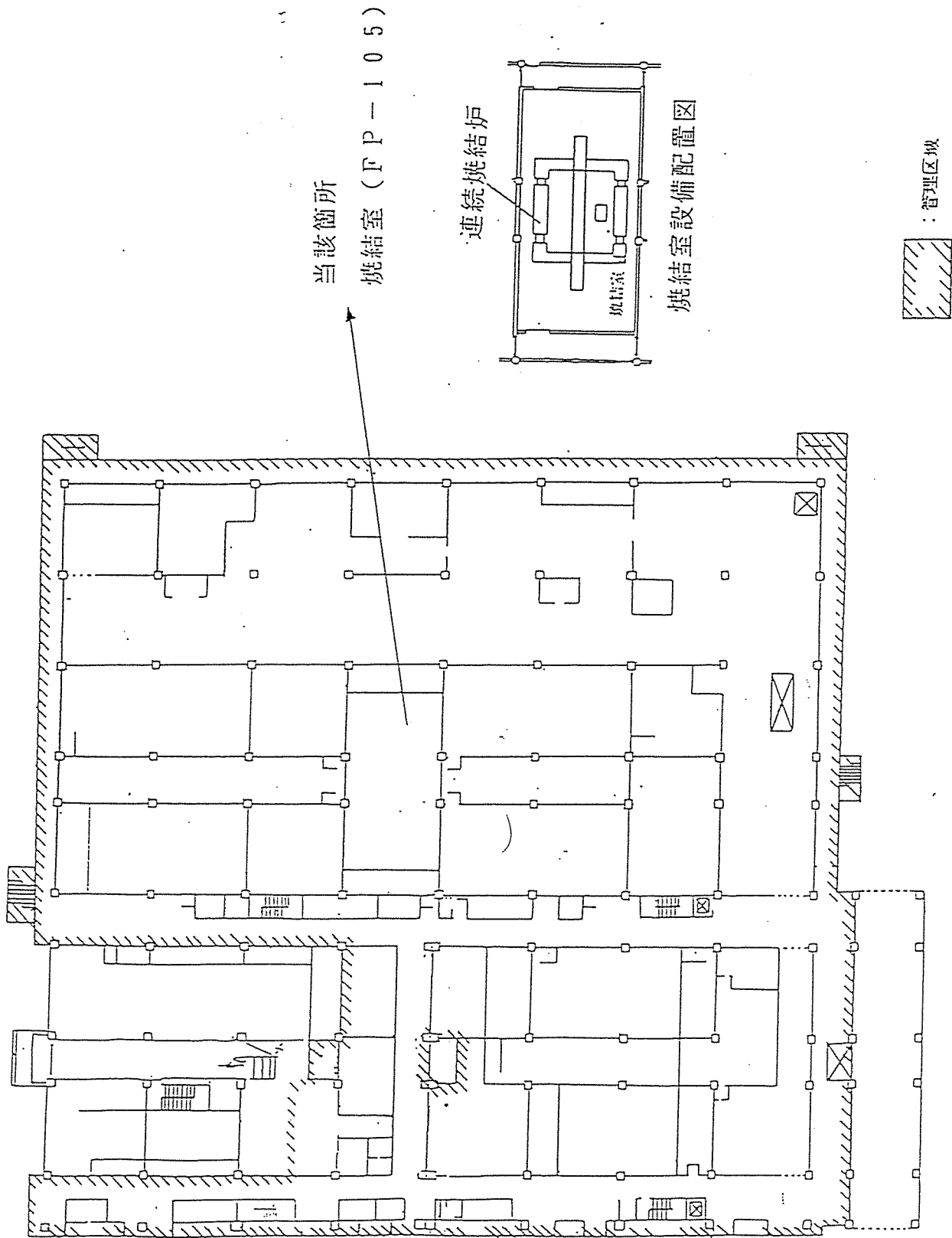
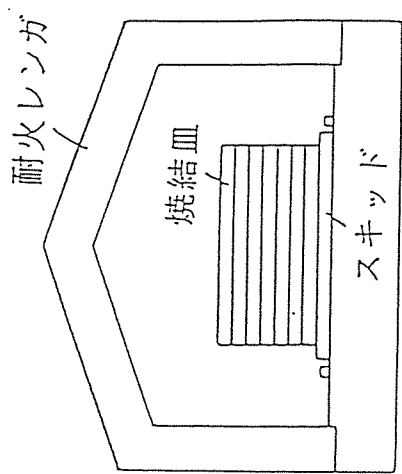
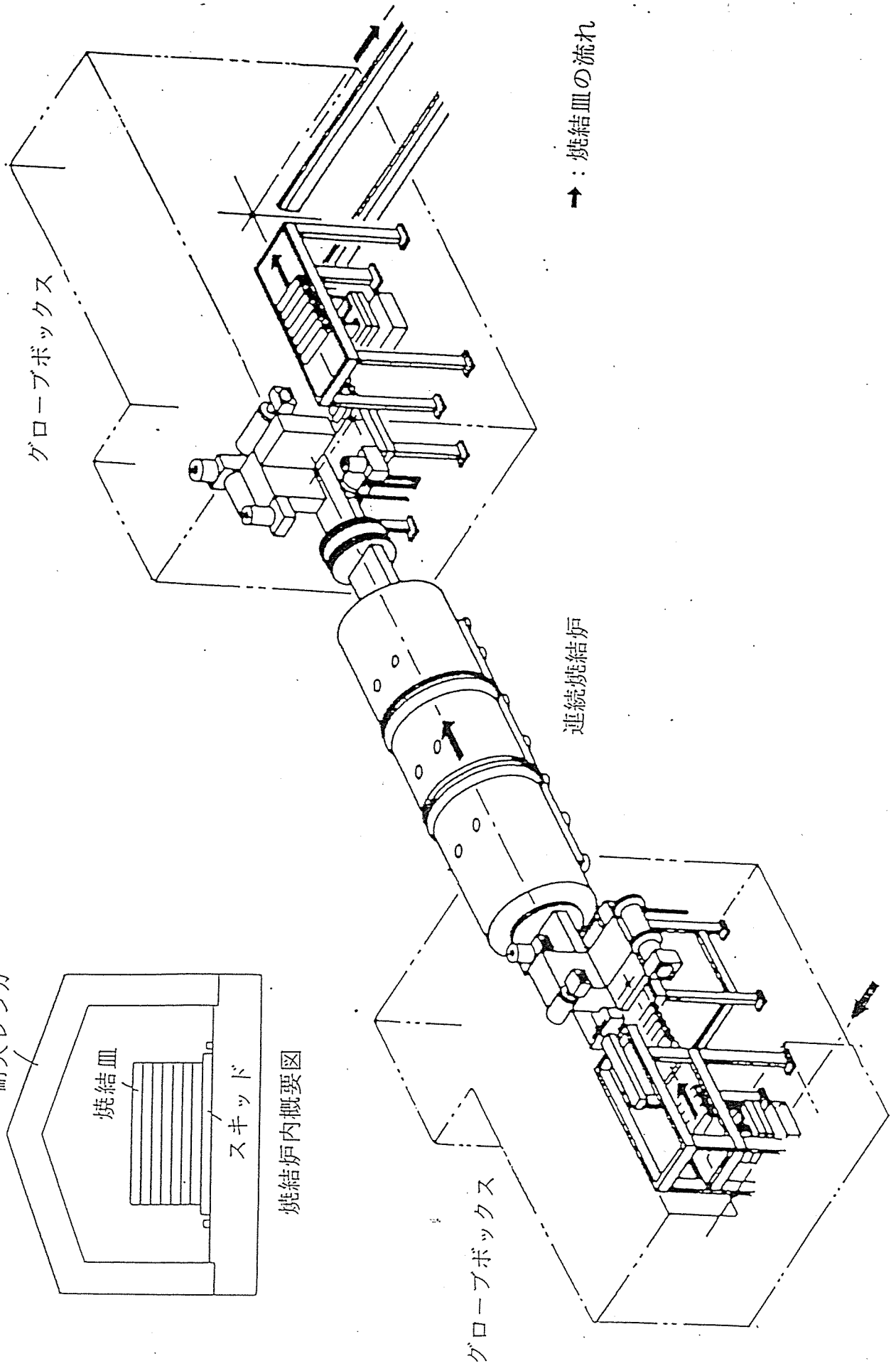


図-1 プルトニウム燃料第三開発室 1階平面図



焼結炉内概要図



図一 2 連続焼結炉概要図